

会 議 録

会 議 名	令和2年度三芳町まち ひと しごと創生総合戦略審議会
開 催 日 時	令和3年3月24日(水) 14時00分開会 15時10分閉会
開 催 場 所	三芳町立体育館 会議室1
主宰者氏名	政策推進室
出席者	朝倉はるみ委員、鈴木浩委員、田村五九男委員、安藤豪委員、米本真吾委員、山崎百恵委員
欠席者	柏倉猛委員、遠藤日出夫委員
事務局職員	政策推進室 室長 島田高志、主幹 富田篤、主任 丸野寿子
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>① 第一期三芳町まち・ひと・しごと総合戦略報告（KPI達成状況報告）</p> <p>② 国まち・ひと・しごと総合戦略の改訂について</p> <p>③ 町のコロナ禍における地方創生臨時交付金に係る取組について</p> <p>④ その他</p> <p>4 閉 会</p>
配布資料：添付のとおり	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<p>開 会</p> <p>あいさつ 朝倉会長より挨拶</p> <p>協議事項</p> <p>①第一期三芳町まち・ひと・しごと総合戦略報告（KPI達成状況報告）について事務局に説明を求めた。</p> <p>配布資料に基づき事務局より説明</p> <p>（質疑）</p>

委員	人口増の要因は。
事務局	転入が多かったのが一因。区画整理が終わり、爆発的に増加するかと思っただが、ゆるやかに販売している状況。企業の寮への入居が減ったという話も聞くが、今後も開発があると考えられるので、総合計画の目標達成に向けては問題ないと考えている。
委員	新たに女性管理職が就任されるとのことだが、パーセンテージは出ているか。
事務局	パーセンテージでは算出できなかった。優秀な女性も多くいるので、今後増加していくと考えている。 ----- ②町のコロナ禍における地方創生臨時交付金に係る取組について及び③三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 答申（案）について事務局に説明を求めた。 配布資料に基づき事務局より説明 （意見交換）
事務局	皆様の周りでお困りの方や業種などのお話も伺いたい。
会長	では、金融の見地からはいかがか。
委員	全国的にも言われていることだが、飲食、ジャンルにもよるが、旅客運送。飲食そのものとその納品業者さんなどのサプライチェーンが厳しい。
委員	先月までは制度融資があり、金利も0でそれによって持たせていたが、この先長引くと厳しいのではないかと。金融機関も取り組まなければならないし、予算も限度があると思うのでどこまで町でできるのかがわからないが、支援策があるといいと思う。
委員	野菜を預かる立場からすると、昨年春の緊急事態宣言の時の方が比較的影響がなかった。野菜自体が天候に左右されるので一概には言えないが、外食、加工品の注文の野菜関係については急に落ちた。また、日本は輸入が多い。前は、輸入が減ったが、今回はどんどん輸入しているのもあるかもしれない。
委員	人が動かないようにということなので、人が動かなければダメという話。

	総合的な三芳町の価値として、藤久保小学校の交差点をスクランブル化してはどうか。車を運転している方も安心できる。お金はかかると思うが、歩者分離にした方が、町のグレードが上がるのでは。
委員	老人の方の取組をしているのだが、出るなどと言われると高齢者は退化が進む。認知症が進むし、施設に入る人も増える。そういったことを防ぐためにやってきていたが、全てキャンセルになってしまった。訪ねたり、食事を届けたり、集まったりすることもしにくくなった。ここに来て 10 人くらい施設に入った。何か対策ができればいいと思っているが、何かいい知恵が欲しい。
会長	健常者であっても、精神的にも肉体的にも衰えてくる。通常の講義では 90 分立って行うが、1 年間座って授業していたので、4 月から立ってできるか不安。他の先生も、5 階まで階段で昇っていたのが昇れなくなったと言っている。高齢者であればなおさらだろう。感染対策をしつつも、交流を促すような何かがあるといい。
委員	なかなかいい案が思いつかないが、ひとつ、町が以前からやっている地域を綺麗にする、花植え事業があることに気づいた。これは、外での活動なので、草取りや水やりなど出てこられる機会になっている。4 月からも受け付けると聞いている。何かこのように、意図的に出て来られる機会を作らないと、団地の高齢者は閉じこもる。1 か月も閉じこもっていたら横になってしまう。
会長	寝たきり高齢者が増えるより、元気な高齢者が増えた方がいい。
委員	介護保険料も上がってきている。これ以上上がると払えなくなる人もいて、生活保護に転落することも有り得る。でも、いい知恵がない。
事務局	学生が困っているなどはないか。
会長	淑徳大学では、親が仕事ができず学費が払えなくなりそうなどということがあり、学生に 5 万円の補助金を渡した。遠隔授業の PC を買うことなどを目的にしていたが、生活ができないということで生活費に回ってしまったという話も聞く。全面遠隔授業だったのだが、ずっと携帯で遠隔授業を受けた学生もいた。すべての学生に対面のように授業をできなかったことは、大学として忸怩たる思いだった。地方から来た学生は、借りた家を借りっぱなしだった者もいるが、いつ授業が再開されるか明確にできなかったこともあり、解約もできないような状況だったのは、かなり負担になっただろうと思う。
委員	アルバイトで学費を稼いでいたような人も、アルバイト自体がなくなってし

	<p>まって、という話もあった。</p>
会長	<p>経済が回っていかないと、ご両親もそうだし、自分自身もアルバイトができないという状況になる。</p>
委員	<p>社協がマミーマートのそばで、余剰の食料品等を配る活動を行っている。生理用品すら買えない学生がいるというのをテレビでも見る。そういったところから学生に配分するのもいいのではないかと。使う人がいる気がする。もっと活用できるのではないかと。</p>
委員	<p>保存樹木の件だが、関越自動車道の付近の広い雑木林があつという間に伐採された。個人の相続に係る問題だから仕方がないが、林がなくなるとこんなにも寂しいものかと思った。県のトラストで保存樹木を減らすということが書いてあるが、場所によっては全く正反対のことが起きている。開発を行うと、そういった部分が引っ張られる。</p>
委員	<p>北永井3区では、住民が雑木林の保存活動を行っている。そういったことを広げることにはできないか。</p>
事務局	<p>3区の里など、委託料を出して管理してもらっているところがある。</p>
委員	<p>綺麗にしていると、花も咲くし、子どもも遊べる。高齢者が外に出るきっかけともなっていて、いい循環となっている。</p>
事務局	<p>安全にも繋がる。ただ、相続となつての買取などは難しい面もある。</p>
委員	<p>自分は林を買い増した。早くもっと大きくなれないかと思っている。</p>
委員	<p>町として、なにかしらの支援があるといい。</p>
会長	<p>三芳町に来て、雑木林というものがたくさんあることに驚いた。府中に住んでいるのだが、畑などはあるが雑木林はない。残せる林があれば、町が上手に支援をして残せる仕組みがあるといいし、そこに高齢者を入れていただければ一石三鳥くらいになる。そういった政策を考えて頂ければ。</p>
委員	<p>人口目標値についてだが、コロナの影響もあるのか、若干増えている。事業所数は横ばい、歩道整備が達成していない。もう少し発展的な要素が必要なのでは。特に人口については、フルインター化により事業所が増える可能性がある。藤久保の区画整理事業も終わって増える要素がある。微減という目標より増える目標値を作り、発展的な計画を作った方がいいのでは。公共施設マネジメント基本計画の場でも、人口が減る前提での計画になっている。</p>

会長	<p>なんのために区画整理をしたのか。すべてが絵に描いた餅になるのでは。</p> <p>東京から東京周辺に人口が移動しているという話もあるので、そういった条件も鑑みながらまた検討していただきたい。</p> <p>-----</p> <p>④その他</p> <p>次回審議会は1年後となる予定。また、開催時期に合わせてご連絡させていただきます。</p> <p>-----</p> <p>鈴木職務代理 挨拶</p> <p>閉 会</p>
----	---